

星の子だより



第12号 2013年2月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム

暦の上では立春を迎え、季節が冬から春へと移り変わる頃ですが、まだまだ寒さの厳しい日々が続きますね。インフルエンザなどの感染症が流行する季節ですので、体調管理に努め、元気に過ごしたいものです。星の子ルームでは今年も、子どもたちがゆっくと安心して身体を休めることができる環境を整え、丁寧な看護・保育に努めてまいります。

本年もよろしくお願いいたします。



病気のいろいろ

毎年冬はインフルエンザ流行シーズンです。また今年はノロウイルス感染症やロタウイルスによる乳幼児冬季嘔吐下痢症も流行っています。これらのウイルスに対して一人一人が感染予防を徹底すること、また感染してしまった時には、他の人にうつさないようにすることが大切です。

そこで感染予防に関する重要なポイントをお話します。

- 手洗い**：せっけんを使って丁寧に洗うことが大切です。
お子さんの手洗いには大人が付き添ってあげましょう。
- うがい**：帰宅後は忘れずにしましょう。
- マスク**：マスクは人にうつさない、人からうつされないために着用しましょう。
- 健康管理**：栄養と睡眠を十分にとって、体力や抵抗力を高めておきましょう。
- 湿度**：室内では適度な湿度を保ちましょう。



インフルエンザの出席停止期間の基準が改正されました！！

平成24年度4月から学校保健安全法の改正によりインフルエンザ等の出席停止期間が一部改正され、**発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日（幼児では3日）を経過するまで**となりました。

星の子ルームでは、この基準にもとづいてお子様をお預かりしています。発熱や咳などの症状があり、インフルエンザが疑われる場合には、小児科医の診断をお願いしています。施設内感染防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。



《ほいくしつのように》

熱や咳が出るなどして夜あまり眠れなかった時は保育室にいる間をほとんどを睡眠で過ごす子もいます。たっぷり眠ってすっきり目覚めた時は、翌日は日頃の生活に戻れるようです。そして何でもよく食べる子も回復が早いように感じます。「よく食べ、よく眠る」という生活リズムを整えるだけで、病気を早く治したり、病気をはね返す力になる、と子どもたちの姿から感じ取れます。忙しさに紛れて疎かになりがちな生活習慣。改めて見直すのもいいかもしれませんね。

寒い時期や忙しい時期にこそ元気で楽しく過ごしていけるよう保育室スタッフ一同サポートしていきます。



お知らせ



☆事前診察☆

当院小児科では事前診察が可能です。「かかりつけの病院が休診だった」「受診したが、かかりつけ医連絡票を書いてもらうのを忘れた」等の理由で書類を用意できなかった際にご利用ください。（当保育室利用の予約時にお申し出ください。）**ただし、伝染性疾患が疑われたり、発熱・嘔吐・下痢などでぐったりしている等の症状がある場合は当保育室の利用も難しいため、受診できない場合もあります。**

☆初めてのご利用☆

事前登録は必要ありません。電話などで予約の上、利用当日に「登録票」「利用申込書」「こどもカルテ」「かかりつけ医連絡票」をご持参ください。（書式はon lineで入手できます。）

☆予約・キャンセル☆

予約受付時間は7:15~18:00です（保育時間は7:30~18:00）。キャンセルされる場合は当日の朝8:30までにご連絡ください。

☆駐車場☆

駐車場は送迎時のみ利用することができます。医学部入口（国道48号線沿い・良陵会館向かい）から入った駐車場をご利用ください。その際ゲート係員に当保育室を利用することを申し出てください。ホームページに詳しい地図を載せていますのでご参照ください。

☆アレルギー食☆

食物アレルギーのあるお子さんにはアレルギー対応食をご用意いたします。アレルギーについて詳しくお尋ねします（記入していただく書類があります）ので、ご利用の際は時間に余裕をもってお越しください。（昼食をご持参していただくこともあります。）

◎予約・問い合わせ 022(717)7819

◎メールアドレス hoshinoko@bureau.tohoku.ac.jp

◎ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp/hurdling/hoshi.html>